

平成17年国勢調査 従業地・通学地集計結果(その1)

－ 姫路市の概要 －

姫路市情報化推進室 (TEL 079-221-2208)

平成17年10月1日現在で実施された「平成17年国勢調査」の従業地・通学地集計（通勤者及び通学者の人口を通勤先・通学先などの別に集計）の結果（確定値）が総務省より公表されましたので、姫路市の概要を紹介します。

なお、平成18年3月27日に合併した4町分（家島町、夢前町、香寺町、安富町）は、「合併町の昼間人口」、「合併後の昼間人口」以外は含まれていません。

1 昼間人口

■姫路市の昼間人口は、50万2,176人。昼夜間人口比率は、前回（平成12年）に比べ1.2ポイント低下。

平成17年10月1日現在の姫路市の昼間人口（常住地の人口に流入人口を加え流出人口を減じた人口）は50万2,176人、常住人口（夜間人口）は48万2,140人、市外からの流入人口は7万335人、市外への流出人口は5万299人、流入人口から流出人口を引いた流入超過人口は2万36人となっています。

前回（平成12年）と比べると、昼間人口は1,755人（0.3%）減少しています。内訳をみると、夜間人口は3,842人（0.8%）増加していますが、流入人口が1,460人（2.0%）減少し、流出人口が4,137人（9.0%）増加した結果、流入超過人口が5,597人（21.8%）減少しています。

昭和55年以降の推移をみると、夜間人口は増加を続けていますが、昼間人口は今回初めて減少しています。

昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口）は104.2で、前回と比べると、1.2ポイント低下しています。

図1 昼・夜間人口、昼夜間人口比率の推移

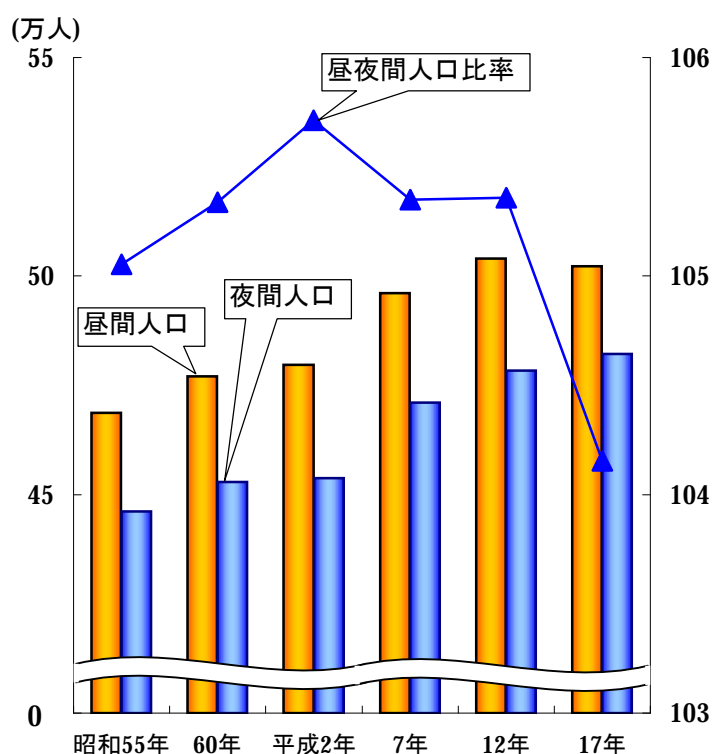


表1 昼間人口の推移(昭和55年～平成17年)

各年10月1日現在

年次	常住人口 (夜間人口) (A)	市外からの 流入人口 (B)	市外への 流出人口 (C)	流入超過人口 (D)=(B)-(C)	昼間人口 (E)=(A)+(B)-(C)	昼夜間 人口比率 (E)/(A)X100
昭和 55年	446,167	54,485	31,939	22,546	468,713	105.1
60年	452,901	59,132	34,958	24,174	477,075	105.3
平成 2年	453,772	67,321	41,400	25,921	479,693	105.7
7年	470,976	73,461	48,272	25,189	496,165	105.3
12年	478,298	71,795	46,162	25,633	503,931	105.4
17年	482,140	70,335	50,299	20,036	502,176	104.2

注) 年齢「不詳」を除く。

■25～29歳、50～54歳の昼間人口は前回に比べ9,000人以上減少。

昼夜間人口比率を年齢階級別にみると、25～29歳が110.1で最も高く、次いで20～24歳の108.5、55～59歳の108.1となっています。

前回（平成12年）と比べると、15～24歳と40～54歳が大きく低下しています。特に、20～24歳が4.7ポイント低下と最も低下しており、次いで45～49歳が3.5ポイント低下、40～44歳が3.4ポイント低下となっています。

図2 年齢5歳階級別昼夜間人口比率(平成12年、平成17年)

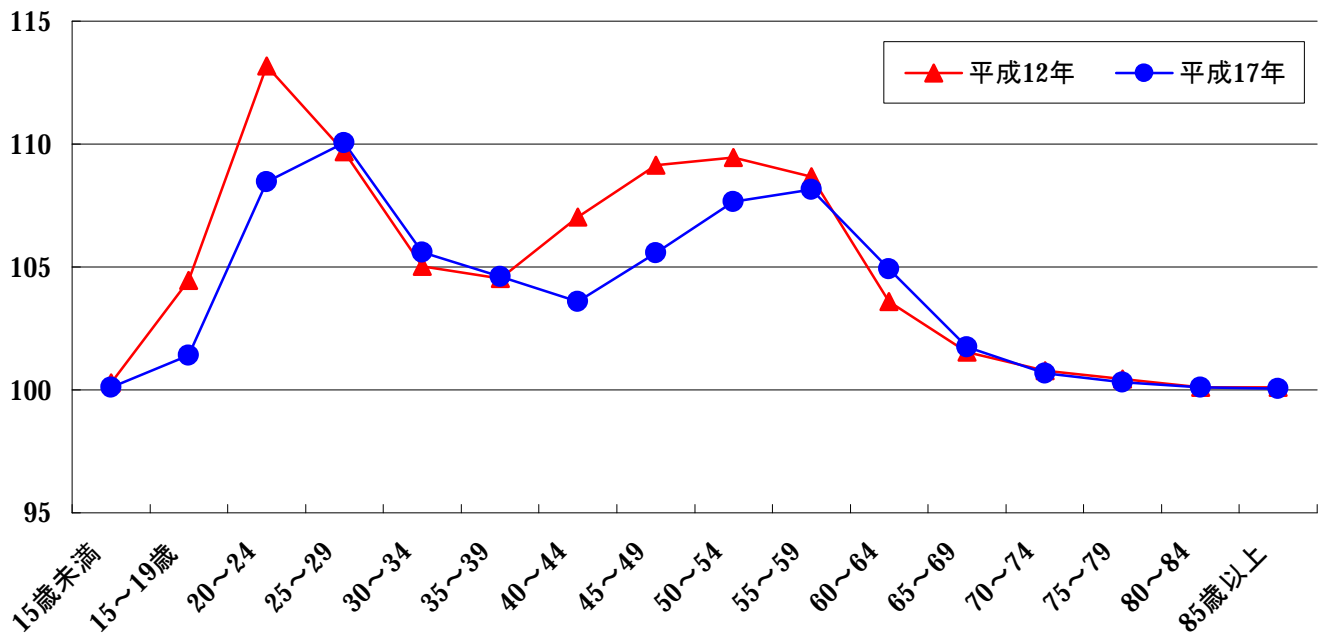


表2 年齢5歳階級別昼間人口、昼夜間人口比率(平成12年、平成17年)

年齢階級	平成12年					平成17年				
	昼間人口	常住人口 (夜間人口)	流入人口	流出人口	昼夜間 人口比率	昼間人口	常住人口 (夜間人口)	流入人口	流出人口	昼夜間 人口比率
総 数	503,931	478,298	71,795	46,162	105.4	502,176	482,140	70,335	50,299	104.2
15歳未満	78,306	78,081	483	258	100.3	76,181	76,102	497	418	100.1
15～19歳	28,219	27,014	6,531	5,326	104.5	25,316	24,962	5,628	5,274	101.4
20～24	33,718	29,792	9,669	5,743	113.2	28,226	26,022	8,001	5,797	108.5
25～29	44,483	40,552	9,965	6,034	109.7	34,509	31,355	8,295	5,141	110.1
30～34	37,154	35,374	6,844	5,064	105.0	42,108	39,874	8,646	6,412	105.6
35～39	33,133	31,694	6,203	4,764	104.5	35,866	34,289	7,022	5,445	104.6
40～44	29,962	27,992	6,213	4,243	107.0	32,218	31,101	6,412	5,295	103.6
45～49	34,220	31,354	7,367	4,501	109.1	29,006	27,478	6,149	4,621	105.6
50～54	42,769	39,073	8,563	4,867	109.5	32,939	30,593	6,891	4,545	107.7
55～59	36,954	34,002	6,342	3,390	108.7	41,289	38,180	7,660	4,551	108.1
60～64	29,308	28,288	2,306	1,286	103.6	34,873	33,240	3,526	1,893	104.9
65～69	25,796	25,403	867	474	101.5	27,628	27,154	1,108	634	101.7
70～74	20,032	19,878	309	155	100.8	23,905	23,747	346	188	100.7
75～79	13,797	13,737	106	46	100.4	17,680	17,626	112	58	100.3
80～84	8,805	8,796	19	10	100.1	11,204	11,193	34	23	100.1
85歳以上	7,275	7,268	8	1	100.1	9,228	9,224	8	4	100.0

2 姫路市に常住する就業者・通学者

■15歳以上就業者・通学者で市外へ通勤・通学している者は4万9,881人。

姫路市に常住する15歳以上就業者及び通学者は、24万5,130人で、前回（平成12年）と比べると、2,820人（1.1%）減少しています。このうち、就業者は22万468人で、前回に比べ832人（0.4%）減少しており、通学者は2万4,662人で、前回に比べ1,988人（7.5%）減少しています。

従業地・通学地別の割合をみると、就業者で市外に通勤している者の割合は、19.2%で前回より1.8ポイント増加しています。また、通学者で市外に通学している者の割合は、30.9%で前回より3.5ポイント増加しています。

図3 常住地による従業地・通学地別15歳以上就業者数・通学者数の割合

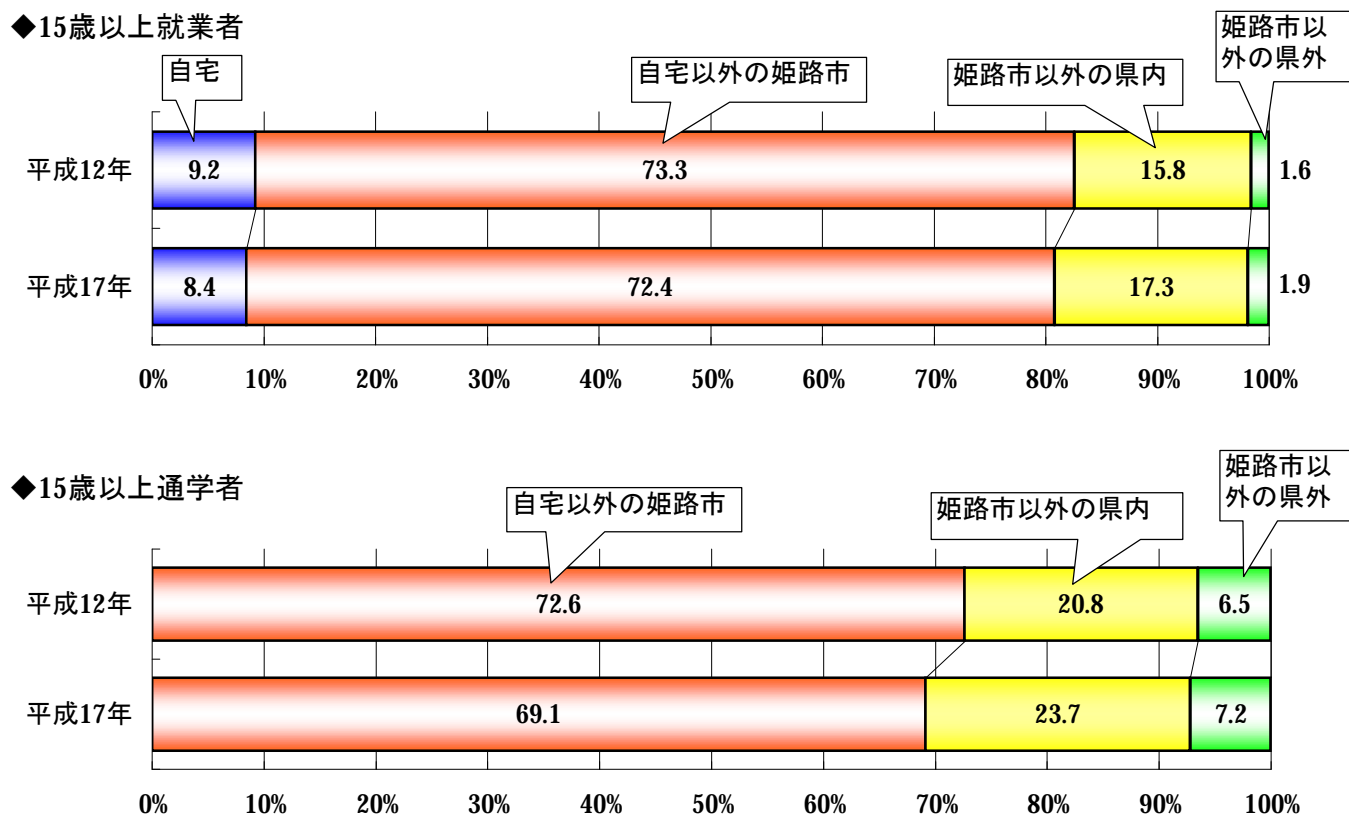


表3 常住地による従業地・通学地別15歳以上就業者数・通学者数

	平成17年					平成12年					差 (A)-(B)
	総数 (A)	構成比 (%)	就業者	通学者	(別掲) 15歳未満通学者を含む	総数 (B)	構成比 (%)	就業者	通学者	(別掲) 15歳未満通学者を含む	
姫路市に常住する就業者・通学者	245,130	100.0	220,468	24,662	67,226	247,950	100.0	221,300	26,650	69,256	△ 2,820
姫路市で従業・通学	195,249	79.7	178,200	17,049	59,195	202,046	81.5	182,696	19,350	61,698	△ 6,797
自宅	18,510	7.6	18,510	-	-	20,414	8.2	20,414	-	-	△ 1,904
自宅外	176,739	72.1	159,690	17,049	59,195	181,632	73.3	162,282	19,350	61,698	△ 4,893
姫路市以外の市区町村で従業・通学	49,881	20.3	42,268	7,613	8,031	45,904	18.5	38,604	7,300	7,558	3,977
県内	43,925	17.9	38,085	5,840	6,122	40,596	16.4	35,041	5,555	5,745	3,329
他県	5,956	2.4	4,183	1,773	1,909	5,308	2.1	3,563	1,745	1,813	648

3 姫路市を従業地・通学地とする就業者・通学者

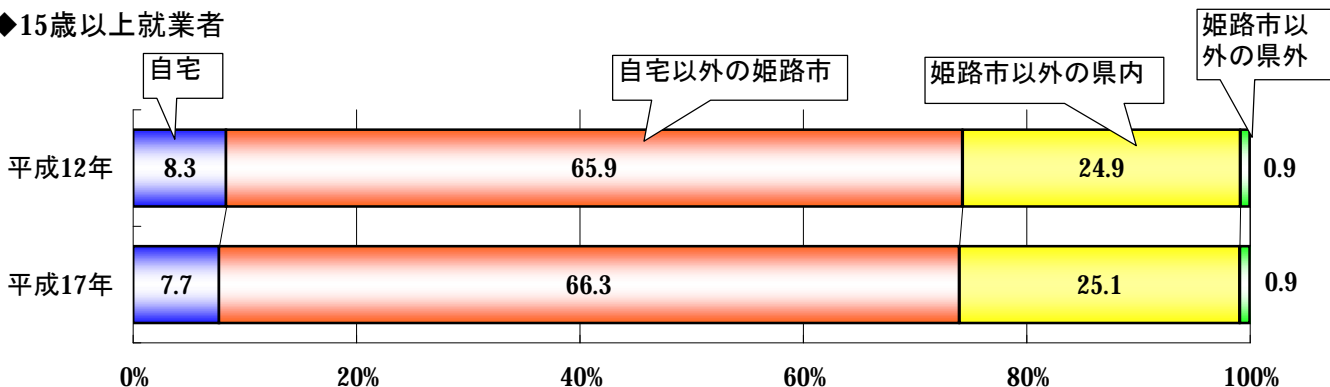
■15歳以上就業者・通学者で市外から通勤・通学している者は6万9,838人。

姫路市を従業地・通学地とする15歳以上就業者及び通学者は、26万5,087人で、前回（平成12年）と比べると、8,271人（3.0%）減少しています。このうち、就業者は24万911人で、前回に比べ5,172人（2.1%）減少しており、通学者は2万4,176人で、前回に比べ3,099人（11.4%）減少しています。

常住地別の割合をみると、就業者で市外から通勤している者の割合は、26.0%で前回より0.2ポイント増加しています。また、通学者で市外から通学している者の割合は、29.5%で前回より0.4ポイント増加しています。

図4 従業地・通学地による常住地別15歳以上就業者数・通学者数の割合

◆15歳以上就業者



◆15歳以上通学者

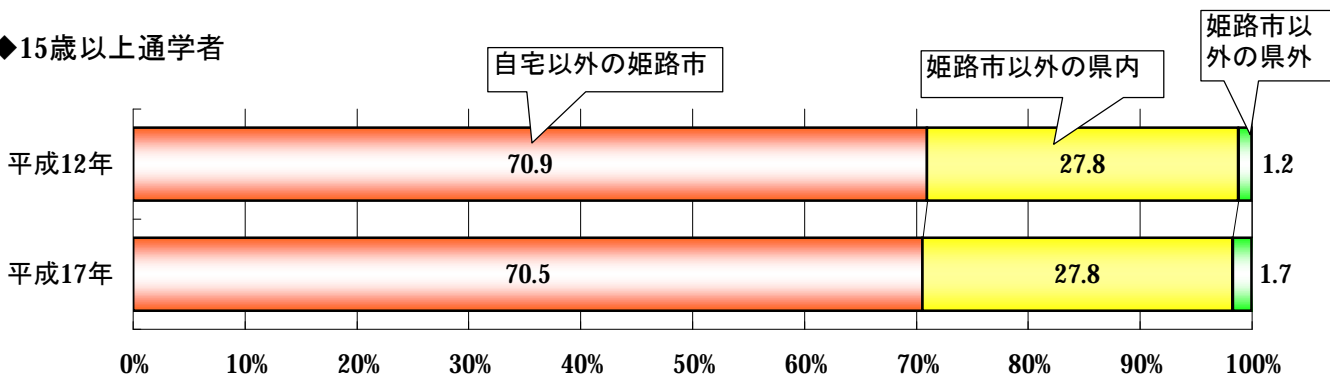


表4 従業地・通学地による常住地別15歳以上就業者数・通学者数

	平成17年					平成12年					差 (A)-(B)
	総数 (A)	構成比 (%)	就業者	通学者	(別掲) 15歳未満通学者を含む	総数 (B)	構成比 (%)	就業者	通学者	(別掲) 15歳未満通学者を含む	
姫路市で従業・通学する者	265,087	100.0	240,911	24,176	66,819	273,358	100.0	246,083	27,275	70,106	△ 8,271
姫路市に常住	195,249	73.7	178,200	17,049	59,195	202,046	73.9	182,696	19,350	61,698	△ 6,797
自宅	18,510	7.0	18,510	-	-	20,414	7.5	20,414	-	-	△ 1,904
自宅外	176,739	66.7	159,690	17,049	59,195	181,632	66.4	162,282	19,350	61,698	△ 4,893
姫路市以外の市区町村に常住	69,838	26.3	62,711	7,127	7,624	71,312	26.1	63,387	7,925	8,408	△ 1,474
県内	67,230	25.4	60,521	6,709	7,196	68,804	25.2	61,209	7,595	8,062	△ 1,574
他県	2,608	1.0	2,190	418	428	2,508	0.9	2,178	330	346	100

4 流出・流入人口

■西播磨地域からの流入人口が最も多く、東播磨地域への流出人口が最も多い。

姫路市外から通勤・通学する15歳以上就業者及び通学者は、県内からの流入が6万7,230人（流入人口の96.3%）、県外からの流入が2,608人（同3.7%）となっています。県内からの流入を地域別にみると、西播磨地域が2万4,571人（同35.2%）と最も多く、次いで東播磨地域の2万324人（同29.1%）となっています。

姫路市外へ通勤・通学する15歳以上就業者及び通学者は、県内への流出が4万3,925人（流出人口の88.1%）、県外への流出が5,956人（同11.9%）となっています。県内への流出を地域別にみると、東播磨地域が1万2,695人（同25.5%）と最も多く、次いで西播磨地域の1万1,583人（同23.2%）となっています。

表5 地域別流入人口、流出人口(15歳以上就業者・通学者)

	流入人口			流出人口			流入超過人口		
	平成7年	12年	17年	平成7年	12年	17年	平成7年	12年	17年
総 数	72,919	71,312	69,838	48,026	45,904	49,881	24,893	25,408	19,957
県 内	70,269	68,804	67,230	42,540	40,596	43,925	27,729	28,208	23,305
神戸市	3,849	4,277	4,592	10,336	8,787	9,030	△ 6,487	△ 4,510	△ 4,438
阪神地域	737	875	1,140	1,260	1,120	1,298	△ 523	△ 245	△ 158
東播磨地域	18,952	19,964	20,324	13,026	11,751	12,695	5,926	8,213	7,629
北播磨地域	2,938	3,053	3,000	2,059	2,090	2,477	879	963	523
姫路市以外の中播磨地域	15,047	14,387	13,192	6,110	6,198	6,559	8,937	8,189	6,633
西播磨地域	28,330	25,835	24,571	9,486	10,407	11,583	18,844	15,428	12,988
他の市町	416	413	411	263	243	283	153	170	128
県 外	2,650	2,508	2,608	5,486	5,308	5,956	△ 2,836	△ 2,800	△ 3,348
大阪府	1,121	1,198	1,212	3,472	3,535	3,972	△ 2,351	△ 2,337	△ 2,760
うち大阪市	340	373	423	2,506	2,552	2,928	△ 2,166	△ 2,179	△ 2,505
その他の県	1,529	1,310	1,396	2,014	1,773	1,984	△ 485	△ 463	△ 588
	割 合								
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
県 内	96.4	96.5	96.3	88.6	88.4	88.1			
神戸市	5.3	6.0	6.6	21.5	19.1	18.1			
阪神地域	1.0	1.2	1.6	2.6	2.4	2.6			
東播磨地域	26.0	28.0	29.1	27.1	25.6	25.5			
北播磨地域	4.0	4.3	4.3	4.3	4.6	5.0			
姫路市以外の中播磨地域	20.6	20.2	18.9	12.7	13.5	13.1			
西播磨地域	38.9	36.2	35.2	19.8	22.7	23.2			
他の市町	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6			
県 外	3.6	3.5	3.7	11.4	11.6	11.9			
大阪府	1.5	1.7	1.7	7.2	7.7	8.0			
うち大阪市	0.5	0.5	0.6	5.2	5.6	5.9			
その他の県	2.1	1.8	2.0	4.2	3.9	4.0			

注) 〔阪神地域〕 尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町

〔東播磨地域〕 明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町

〔北播磨地域〕 西脇市・三木市・小野市・加西市・社町・滝野町・東条町・多可町

〔姫路市以外の中播磨地域〕 家島町・夢前町・市川町・福崎町・香寺町・神河町

〔西播磨地域〕 相生市・赤穂市・宍粟市・たつの市・太子町・上郡町・佐用町・安富町

5 合併町の昼間人口

■合併町の昼夜間人口比率はすべて100を下回っている。

平成18年3月27日に姫路市と合併した各町の平成17年10月1日現在の昼間人口は、家島町が7,556人、夢前町が1万6,970人、香寺町が1万4,941人、安富町が4,660人となっています。

昼夜間人口比率をみると、家島町が97.8と最も高く、次いで安富町が82.5、夢前町が79.9、香寺町が77.3となっており、すべての町が100を下回る流出超過となっています。

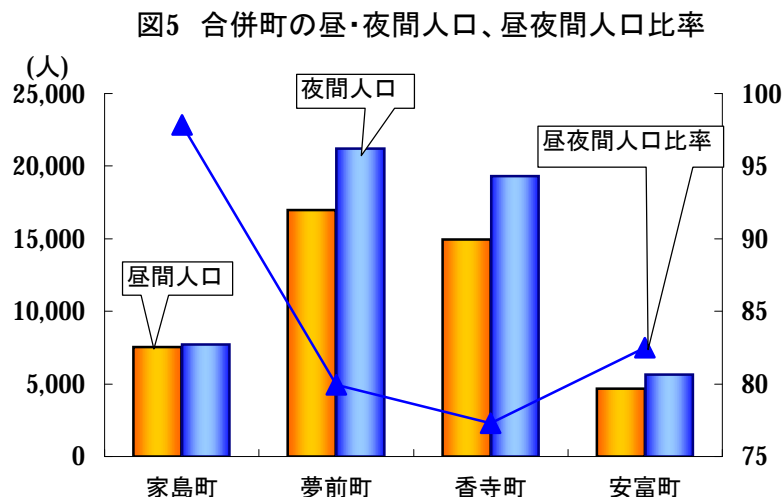


表6 合併町の昼間人口(平成17年)

合併市町	常住人口 (夜間人口) (A)	市外からの 流入人口 (B)	市外への 流出人口 (C)	流入超過人口 (D)=(B)-(C)	昼間人口 (E)=(A)+(B)-(C)	昼夜間 人口比率 (E)/(A)X100
姫路市	482,140	70,335	50,299	20,036	502,176	104.2
家島町	7,724	322	490	△ 168	7,556	97.8
夢前町	21,228	2,615	6,873	△ 4,258	16,970	79.9
香寺町	19,326	3,025	7,410	△ 4,385	14,941	77.3
安富町	5,650	865	1,855	△ 990	4,660	82.5

注) 年齢「不詳」を除く。

6 合併後の昼間人口

■合併後の昼間人口は54万6,303人、昼夜間人口比率は101.9。

合併市町間の流出人口・流入人口を除いた合併後の昼間人口は54万6,303人、市外からの流入人口は6万4,308人、市外への流出人口は5万4,073人、流入超過人口は1万235人となっています。

前回(平成12年)と比べると、昼間人口は3,533人(0.6%)の減少となっています。

昼夜間人口比率は101.9で、前回と比べると0.9ポイント低下しています。

表7 合併後の昼間人口の推移

各年10月1日現在

年次	常住人口 (夜間人口) (A)	市外からの 流入人口 (B)	市外への 流出人口 (C)	流入超過人口 (D)=(B)-(C)	昼間人口 (E)=(A)+(B)-(C)	昼夜間 人口比率 (E)/(A)X100
平成 7年	527,813	66,478	51,647	14,831	542,644	102.8
12年	534,947	64,898	50,009	14,889	549,836	102.8
17年	536,068	64,308	54,073	10,235	546,303	101.9

注) 年齢「不詳」を除く。